

農業暦新年明けましておめでとうございます。女王谷（現在ギャロンと呼ばれる地域のチベット語の原名“Gyalmorong”の意識）の春節休み2月3日～17日は晴天が続き、終わった翌日に雨が降って農作業の開始を催促するという好都合な天候でした。気温も春節前の厳しい寒さが和らいで暦通りの立春となり、溪谷沿いの柳の新緑も映えるようになりました。

春節休みには遠隔地に出掛けている人達が沢山帰省しますが、その中に休みを利用して結婚式を挙げる人が少なくありません。このような結婚式が私の家内の親戚にも2組ありました。当地の結婚式は50年位前の日本の田舎での結婚式と同様に、花嫁花婿の実家の家屋や敷地に式場や宴会場を誂え伝統的な儀式に則って行われます。丹巴のように自然に恵まれた豊かな農村地帯の結婚式は特に盛大で、結婚式に参列する人が200人位になります。その様子を写真でご紹介します。



写真3 式場に入る前に縁起物の麦粉や常緑樹の小枝等を跨ぐ仕草をする女性達。



写真1 結婚式の前の宴席で喜び合う参列者達。後方山並みの中央は女王谷の中心に聳えるモルド神山。



写真4 式場全景と、花嫁花婿に祝詞を述べに向かう世話人達。式場左側に親戚の男性達、右側に女性達が座ります。



写真2 式場の前に整列した花嫁と親戚の女性達。



写真5 花嫁（中央）と付き添い達。左端に花婿の顔も見えています。